

「学校現場における危機対応と心のケア講座」

- 実体験に基づく内容だったので切実感があった。危機レベルにかかわらず、子どもを守る、子どもの人格を形成していくための我々の手立ての重要性を改めて感じた。
- 一人で抱え込まないことの大切さを特に学ばせてもらったと思う。自分自身の力のなさを恥じることよりも、それを認めて、本当に取り組むべき問題に目を向けていかなければと思った。
- 元兼先生の講義は奥が深く、知識、経験も豊かな話しでとても勉強になりました。また機会があれば受講したいと思います。
- 元兼先生をはじめ、事例等が豊富であり参考になりました。事例はたくさんあった方がよい。教師を続けていく上で、知っているのと知らないのでは大きな差がある。話を聞いてよかった。講義、その後のロールプレイもとても参考になり深く考えさせられた。
- 元兼先生の講義は、たいへん分かり易く現実の課題を見直す手立てとなった。自分の無知が知れて大変良かったと思います。経験をもっと共有する余裕を持たねばと感じました。
- 1日目の元兼先生の話、〇〇中の〇〇先生の発表が特に良かったと思います。元兼先生の危機に対しての定義づけや危機対応の在り方の講義は分かりやすく勉強になった。
- 講義の時間が長いように思っていたが、全く知らないことであつたためいろいろな話がたくさん聞けてよかった。内容が充実していて短く感じました。演習や実習をもっと取り入れていただき、専門家からの具体的な助言がもらえたら現場で活用しやすいと思った。
- 全てが目新しいことで、マニュアルが無くてもこういう話を1度聞かせていただくだけでも参考になった。非現実的な部分も多かったが、日常レベルで生徒にかかわることでも対処的になっては負の連鎖になってしまうので、事前の予防的なかかわり、保護者・地域との連携の取り方など考えていく必要があると思いました。
- 話を聞くだけでも気持が動揺したり、ドキドキしたりしたので、実際に危機が起きたとすれば、自分もパニックになると思う。この講座を受けた意義は大きいと思うし、大きな危機でなくても日頃からの危機感度を高めておく必要性に気づかされた。保護者との信頼関係を築けるようにしていきたい。
- 「失敗を共有化して残していく」ということが印象的でした。現場では、まだまだ内々に話しをして終わり…という感じがあります。それを言い合える職員間の雰囲気作りが必要だと思いますが、それが一番難しいなと感じています。校内の職員研修でやるべきだなと思いました。
- 危機に対して、日頃から対応できるよう心の準備をしておきたいと思います。クレームに対する具体的な対応についての講義も取り入れていただけるとより実践に役立つと思います。校内体制の在り方、保護者の対応の仕方、児童・生徒の心のケアなど、今回の受講をきっかけに更に学んでいきたいです。
- 次年度もこのような講座が開かれることを希望します。もっと日常で起こる保護者、児童の問題についても話を聞いてみたいと考えます。
- 元兼先生の講義は、専門的視点からの内容で、大変興味深く受講することができました。また、2日目の講義は、現場に直接関係する話をして大変参考になりました。危機対応について、日頃からの準備とシュミュレーションをしておく必要性を感じました。
- 学校で危機対応の在り方を見直していかなければならないと反省した。具体的な対応を話していただき勉強になった。
- まず相手の話を聞いてから自分の意志を伝えることの大切さが分かりました。また、今回の内容を活用しなくてもいいように、日頃の信頼関係も築いていかなければと思いました。
- 元兼先生の講義がとてもおもしろかった。基本的な概念の定義から、実際の現場における危機予測のやり方など、具体的に提示していただいて有り難く思いました。惜しむらくは、少し時間が足りず、保護者への具体的な対応についてあまりくわしく話が聞けず残念でした。
- 体験をしないと分からないこともあるが、保護者の対応も多様化しており、適切な対処法をしなければいけないと強く感じた。